

だいく しょえん しゅうねん
第九初演100周年



そうかんごう
増刊号



なると第九

「1918年6月1日」この日は板東俘虜収容所でドイツ兵捕虜によってベートーベン作曲「交響曲 第9番」が、アジアで初めて全曲演奏された日（初演日）です。

板東は四国霊場1番札所の土地。お接待の心が根付いていました。戦争の最中に敵国と国境を越え育まれた友好の絆は、今もさまざまな交流を通して、受け継がれています。

今年（ことし）は初演（しょえん）から100周年（しゅうねん）を記念（きねん）し、鳴門市内（なるとし）内でたくさんのイベント（おこな）が行（い）われます。

学校給食（がっこうきゅうしょく）では、6月19日（にち）（火）「なると学校食育（がっこうしょくいく）の日（ひ）」に、なると第九記念（だいくきねん）の海苔（のり）が登場（とうじょう）します。このロゴマーク（とうじょう）は当時の演奏会（えんそうかい）プログラム（プログラム）をモチーフ（モチーフ）にしています。第九（だいく）の「9（じゅう）の字（じ）」「音楽（おんがく）」「ドイツ（こっき）の国旗（くろ）・赤（あか）・黄（き）の3色（しよく）」を使用（しよう）したものです。

ロゴマーク（い）入（い）りの
 袋（ふくろ）に入（はい）っているよ！



当時の演奏会（とうじ えんそうかい）
 プログラム →



だいひょうてき りょうり
◎代表的なドイツ料理

- ソーセージ ハンバーグ
- アイスバイン（塩漬（しお）けの肉（にく）と野菜（やさい）のスープ）
- シュニッツェル（カツレツ）
- ザワークラウト（キャベツ（つげもの）の漬物（つけもの））
- シュトレン（菓子（か）パン）
- バームクーヘン
- ライ麦（むぎ）パン



ゆらい
ハンバーグの由来

ハンバーグは、ドイツのハンブルクという町（まち）で、労働者（ろうどうしゃ）向けの食事（しょくじ）として流行（は）っていた「タルタルステーキ」が起源（きげん）とされています。18世紀（せい）にアメリカ（あめりか）に持ちこ（も）まれ「ハンブルク風（ふう）ステーキ」と言（い）われていたのが、少（す）しなまり「ハンバーグステーキ」と呼（よ）ぶようになりました。

